

# 新潟市新津育ちの森指定管理者申請者評価会議 議事録

1 開催日時 平成27年10月21日(水) 午後2時から午後4時まで

2 会場 秋葉区役所 4階 401会議室

3 出席者

評価会議委員 (五十音順、敬称略)

小柳 信子 (子育て支援カウンセラー)

斎藤 裕 (新潟県立大学人間生活学部こども学科教授)

酒井 真人 (公認会計士)

菅井 尚子 (秋葉区新津阿賀地区主任児童委員)

田中 彩子 (秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員)

事務局 秋葉区健康福祉課

4 傍聴者なし

5 要 旨

(1) 開会

秋葉区健康福祉課長あいさつ

(2) 事務局説明

評価会議の流れと評価の方法について

(3) 申請者によるプレゼンテーション

(4) 質疑

発言者	内 容
小柳 委員	27年度と比較すると、28年度のイベントが増えているように思われますが、イベントを増やした理由は。
申 請 者	イベントを行う一番の目的は、育ちの森を知ってもらうこと。そして親子で楽しんで、たくさん笑ってもらうこと。スタッフとの距離感を縮め、お母さん達同士が楽しかったねと話し合える場を作ることです。
斎藤 会長	相談業務を充実させているが、社会福祉士の配置がなくなっているのはなぜか。
申 請 者	相談内容に関しては、区との連携が取れているので、子供の成長をよくわかっている保育士を入れ対応しています。

齋藤会長	個人情報保護の観点について、ホームページや館内において活動報告の写真を掲示しているが利用者への配慮は。また、お子さんの写真を撮る保護者が増え、他のお子さんも映る可能性があるが、どのような対応をしていますか。
申請者	館内と月のたより「森のひろば」で、写真を使用させていただくこととお知らせしています。テレビや新聞に掲載される時は必ずお伝えし、不都合のある方にはお申し出いただくよう配慮をしています。個人でお子さんを撮影する方については、個人のモラルの問題になってくるのではないかと思います。ホームページ上の写真は、全体的に問題のない写真以外は、パスワードを使用するよう配慮しています。
小柳委員	28年度からの生活保護家庭の利用料金免除について、生活保護家庭であるかどうかの個人情報は、どのように取り扱われるのですか。
申請者	ご本人より申し出いただかないと難しいと思いますので、区と相談しながら検討していきたいと思っています。
小柳委員	一時預かりについて、1時間600円の料金内訳を教えてください。
申請者	お子さん1人につき1人の保育サポーターがついています。保育サポーターは有償ボランティアで、1時間700円を支払っていますので、利用料600円は保育サポーターにお支払するための料金で、差額の100円を育ちの森で負担しています。
齋藤会長	ほかの同じような施設と比べると、少し高いと思われるのでは。利用する側はなかなか大変なのではないでしょうか。
申請者	慢性疾患のあるお子さんや、首が座ったばかりのお子さんなどの利用でも、保育園などでは、他のお子さんと一緒に預けることになると思いますが、育ちの森は1対1の保育を行いますし、看護師も配置しています。それでも利用が難しいという方につきましては、ほかの施設を紹介させていただいております。
酒井委員	NPO法人の運営について、監事はいますか。また監査はされていますか。
申請者	監事は1名おります。監査もしています。
酒井委員	登記簿謄本の全部証明書で、資産の総額記載が0円とあります。確かにスタート時は0円だと思いますが、毎年の決算時に変更の登記はしていないのですか。
申請者	しておりません。
酒井委員	NPO法人の収支予算書の人件費については、育ちの森の事業とそれ以外の事業とを振り分けていますか。

申 請 者	収支予算書の人件費は育ちの森だけです。
酒 井 委 員	他の事業については、専門の担当の方がいるか。また、法人として給与を支払っている職員は何名か。
申 請 者	育ちの森以外の事業は、ほかの専門職員が関わっています。また、法人として給与を支払っている職員は11名おり、そのうちの10名が育ちの森の職員です。
斎 藤 会 長	障がいのあるお子さんや保護者への支援活動はされていますか。また、利用状況と今後の支援活動については。
申 請 者	障がいのあるお子さんの利用もあります。まずは落ち着けるお部屋を案内し、スタッフが関わり落ち着いてから、遊びのひろばで遊べるような対応をとっています。比較的重たいケースの方には、相談に来ていただき、サロン参加、遊びのひろばへ参加できるようスタッフが関わっています。今後とも支援活動は継続していきたいと考えております。また、区の保健師などと連携していきたいと思っております。
斎 藤 会 長	ほかの委員の方からも何かありませんか。
菅 井 委 員	育ちの森での毎月の行事が、季節に応じたイベントになっており、とても良いと思いました。
田 中 委 員	育ちの森の場所を聞かれることがあります。もう少し目印や看板を設置するなどできないのでしょうか。
申 請 者	ホームページなどで載せていますが、電話をいただくことがあります。そのような場合には、分かる場所まで迎えに行っています。秋葉区外からも来られる方が増えておりますので、分かりやすくなるよう看板など検討していきたいと思っております。
田 中 委 員	広報紙などは、保育園や区役所に置いてありますが、子供を産んだばかりのお母さんなどが目にする機会はありますか。
申 請 者	助産師さんから「こんにちはあかちゃん訪問」で情報誌を持って行っていただいています。
斎 藤 会 長	例えば、お母さんやお父さんになる前からや、赤ちゃんがお腹の中にいる時からの支援や取り組みなどは何か考えてられますか。
申 請 者	私共もそれは非常に感じております。大学などでお話させていただくこともありますが、子育てに関しての周知はまだ不十分だと感じています。情報誌を置く場所を、誰でも手に取れる場所に拡大していこうと思っています。情報誌も今後役立つであろう情報を載せており、2～3歳までとっておいてほしい、といった思いを込めた情報

	誌ですので、これからお母さんになる方にも読んでもらえるような努力をしていきたいと思います。
田中委員	区で母子手帳交付の際などに一緒に渡すことはできないのでしょうか。
申請者	ありがたいですが、部数の問題があります。
酒井委員	現状としては、利用者が多くて飽和状態なのか、それとも少なく困っているのか。また利用総数やここ数年の動向はどうでしょうか。
申請者	利用総数は26年度で1万8千人位です。一日平均で60人位です。利用者の満足という面では現状の50～60人位が一番良いのではないかと思います。周知して多くの方に来ていただきたいと思っておりますが、多くなりすぎると利用者が遊びにくくなると思いますので難しいところです。
小柳委員	事業実施の基本方針で、「地域にある子育て支援施設や福祉施設、サークルとつながり、子育てに関する情報を発信します」とありますが、この施設というのは何を指すのでしょうか。
申請者	秋葉区の子育て支援センターで、療育を行っている「たんたん」という施設がありますが、そのような施設と連携していきたいという意味合いです。
斎藤会長	「地域と連携して子育てしやすいまちづくりを」とありますが、おじいちゃんおばあちゃんや地域のサポーター、子育てを終えた方からも子育てに関わってもらうために、今後どのような事業展開をお考えかお聞きしたい。
申請者	今現在もたくさんのおじいちゃんおばあちゃんが、お孫さんを連れて来られています。次年度は、おじいちゃんおばあちゃんから達からも参加していただけるようなサロンを実施していきたいと考えております。
	(質疑終了)

(5) 評価 (採点)

(6) 集計結果の報告

(7) 閉会